

伏見南地区地域ミーティング  
(通算第77回)

開催日	平成27年5月16日(土)
開催時間	午後4時～午後5時30分
会場	宝来公民館
参加者	21名



地 域 課 題	市 の 回 答
1. 奈良県総合医療センターの跡地活用と新しいまちづくりについて	1. 奈良市と奈良県では、平松周辺地区を含む市内4地区で「まちづくりに関する包括協定」を平成27年1月24日に締結し、奈良県総合医療センターの跡地活用について「跡地活用プロジェクトチーム」を設置した。今後は地元からの意見を踏まえ、まちづくり構想の策定に向けて協議をすすめていきたい。特に、「地域包括ケアシステム」では、県からの補助制度を活用し、良いモデルとして全市に広めていきたい。
2. 避難所の増設問題について	2. 避難所の増設について、伏見南地区は伏見南小学校、京西中学校があるが、大規模災害時には体育館では収容しきれないので、昨年度に「奈良市避難所運営ガイドライン」を策定し、他の教室も有効に活用していきたい。今後は各地区にあった防災マニュアルを作成していく予定である。
3. 防災情報の伝達について	3. 同報系防災行政無線については、本年4月1日より運営し、市内47ヶ所に設置した。伏見南地区は京西中学校に設置している。しかし全市に聞こえている状況ではないので、調査していきたい。
4. 防災倉庫は宝来公民館に1つ設置しているが、伏見南地区全体でも設置場所に困っていることについて	4. 防災倉庫設置については、危機管理課と調整をしている。

5. 治水対策として、地区内の5つのため池の改修について

5. 堤防強化を含めた治水対策について、一斉調査を実施している。国の事業であるため、市としては今後の動向を注視したい。また、池の修繕等は、現状確認の上、小規模であれば市、大規模であれば国・県と協議する。

6. 田んぼ減少により使用していないため池の取り扱いについて

6. 使用していないため池については、複数の課で協議が必要となる。

7. 奈良県総合医療センターの跡地（以下、「跡地」という。）活用の進捗状況について

7. 当初の予定どおり進行している。まちづくり協議会については、本年度、県と一緒にプロジェクトチームを設立し、市としては複数課で委員会を設立して具体的な検討を進めていく。

8. 跡地に地域包括支援センター、保育園等に移設し、拠点づくりの参考にすることについて

8. 跡地の拠点づくりについては、地域の将来的な人口構成や周辺施設（幼稚園・保育園・病院等）を一体的に検討した中で今後具体的に進めていく。

9. 地元医師の意見を聞いて、跡地に町医者の補完的なものを設置してほしいことについて

9. 地元医療機関との関係については、保健所、医療政策課をメンバー（協議会）に加えて検討を進めていく形を考えている。

10. 跡地活用の要望として、診療歴や投薬歴等を入れた「マイ健康カード」の配布や掲載情報について

10. 「マイ健康カード」の利用により、健康と医療のデータの分析や、病気に起因する個人、地域性等々の分析に役立てて予防医学につながれると考える。市では医療政策課を創設し、県立医大と連携し、国保のデータで薬の重複や医療費の抑制につながるのを県と連携していきたい。

11. 地域包括ケアとして、コミュニケーションの場としての機能を持つような、ヤマト野菜を使用したレストランを跡地に開設することについて

11. 高齢者の健康寿命を延ばす意味も含めて「食」を見直すことは重要である。県とも協議していきたい。また東部地区の農村資源を活かす取り組みを行っている。

12. 宝来町から伏見小学校間のトンネルの水路の手すりの設

12. 手すりについては平成26年11月に自治協議会から要望をいただき、協議の結果、柵を本年6月に発

<p>置について</p> <p>13. 大和中央道から直接跡地に入れるような道路計画について、また、道路計画を含めた県医療センターへのアクセスについて</p> <p>14. 跡地に、若い世代の働き先、保育園及び子どもの遊び場、他世代が交流できるような場を創設することについて</p> <p>15. 跡地利用の新プロジェクトチームを設立しているが、まちづくり協議会としてもまとめを行ったうえで、双方が連動して欲しいことについて</p> <p>16. 県立医療総合センター周辺を中心に発展してきたが、今後地域の中心となるものについて明確化して欲しい。(参考意見)</p>	<p>注する予定である。</p> <p>13. 大和中央道から直接入れるかどうかについては、県分野あるいは市分野なのかを確認して後日回答する。アクセス道路については、県と協力して舗装の整備や拡幅等を進めている。用地買収が進んでいないところもある。予算の問題があるため、今後は国・県の補助の獲得を考えている。</p> <p>14. 子どもたちが集まる場が少なくなっている課題については認識しており、跡地利用のプロジェクトチームで考えていきたい。幼稚園・保育園は、人口の動向を見据えながら、平成30年を目途に市全体として再編の計画を進めている。市はすべて認定こども園に再編したいと計画している。</p> <p>15. プロジェクトチームの設立については4月に県・医療政策部より会議の要請があり、地域の方の様々な意見を聞いた。県・市の担当部、そこに学識経験者が入って今年度中に具体化するために、呼びかけがあった。部署がまたがる所もあるが、今まで皆様からいただいた意見を無視することはない。県と市が行う中で、地域の方の意見をしっかりと伝えていきたい。</p>
---	---